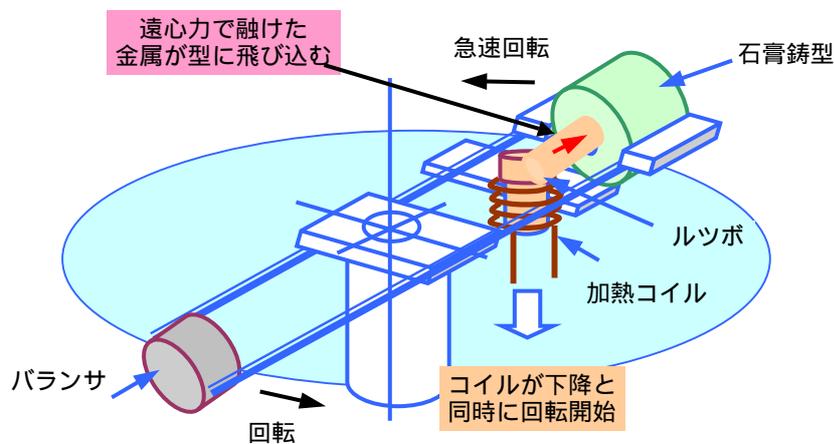


## 鑄造 (Casting)

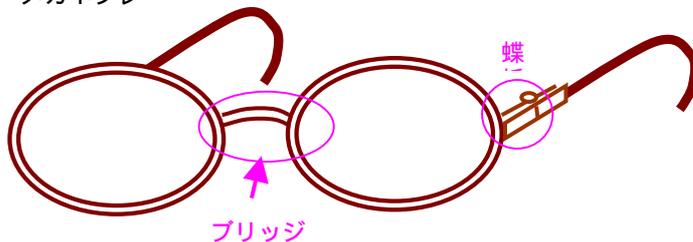
貴金属を扱う宝飾、眼鏡、歯科の業界では、精密な鑄造加工が行なわれています。ロストワックス法などによる石膏型に溶解した貴金属を流して鑄込みます。精密に鑄造するために遠心力や吸引、加圧などの力を利用して様々な鑄造機械が開発されています。この貴金属の溶解に高周波誘導加熱が使われています。1回の鑄込み量が少ない(熔融形状が小さい)ので、高い周波数の装置が実用化されています。

### 遠心鑄造機



### ロー付けの例

メガネフレーム



眼鏡のブリッジや蝶番はロー付けにより接合されています。接合強度はもちろんのことですが、ロー付け付近の加熱による”なまし”は眼鏡の品質に著しい影響を及ぼしますので、出来るだけ低い温度でしかも短時間にロー付けを完了せねばなりません。

低温ロー材や流れを良くするフラックスの選定と同時にワークコイルの形状や周波数など局所的な異常昇温をさける考慮も必要です。



次のページ